



株式会社ショクブン

2025年3月期第2四半期 決算補足説明資料
(2024年4月1日～2024年9月30日)

第2四半期決算ハイライト

2025年3月期 第2四半期

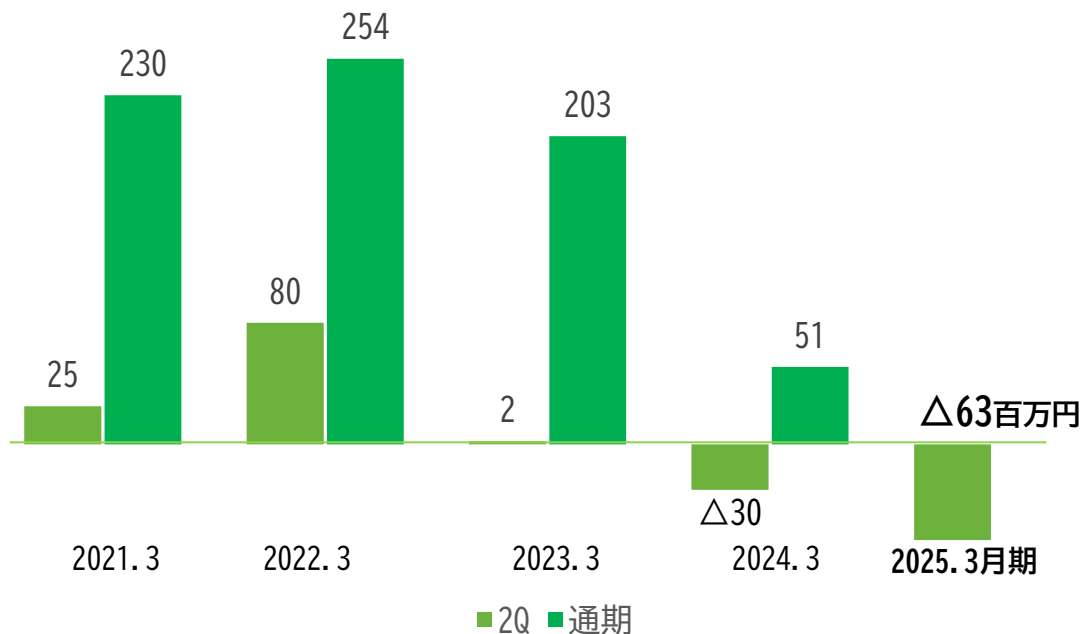
(百万円)	2024年3月期	2025年3月期			
	2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	前年度比
売上高	3,109	1,478	1,420	2,899	93.2%
売上総利益	1,172	568	511	1,079	92.1%
販売費及び一般管理費	1,202	557	565	1,143	95.1%
営業利益	△30	△9	△54	△63	-
経常利益	△32	△10	△55	△68	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△47	△21	△100	△124	-

当中間連結会計期間の業績は、売上高は28億99百万円(前年同期比93.2%)、営業損失は63百万円(前年同期は30百万円の営業損失)、経常損失は68百万円(前年同期は32百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は1億24百万円(前年同期は47百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

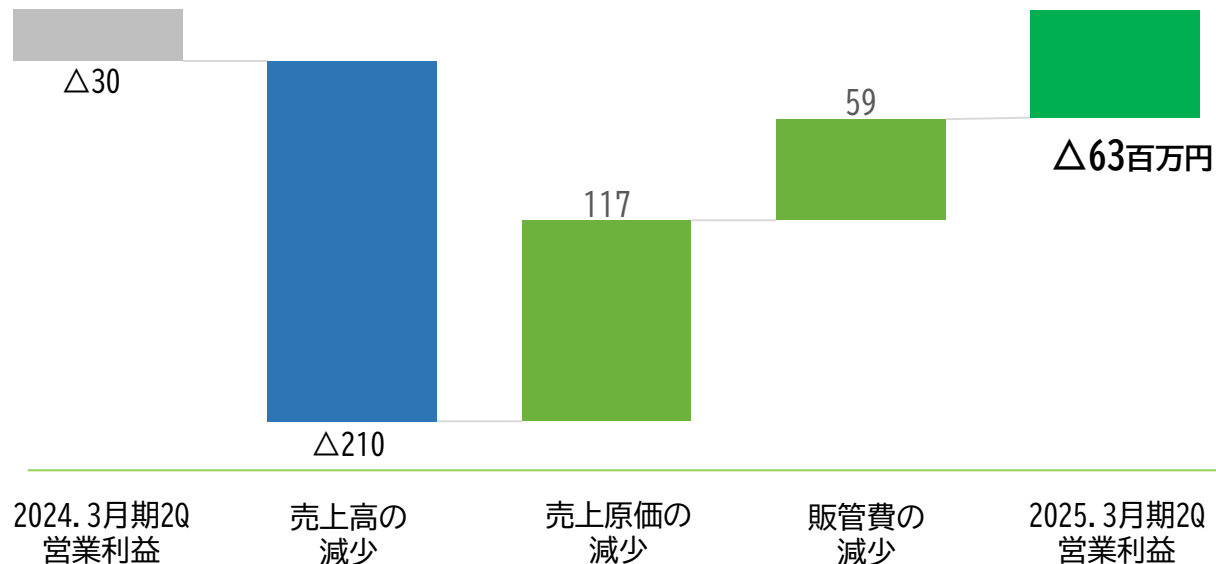
営業利益の推移

2025年3月期 第2四半期

直近5年の推移（第2四半期/通期）



増減分析



前期より販売管理費、売上原価の縮小に努めておりますが、売上高の減少を吸収できず、63百万円（前年同期は30百万円の営業損失）を計上する結果となりました。また、当期より購買部門による仕入方法の見直し、メニュー作成の原価管理を再徹底し事業構造の改善を図ってまいります。

セグメント別売上高

2025年3月期 第2四半期

(百万円)	前年同期 合計	愛知	三重	岐阜	大阪	京滋	全社合計
メニュー売上高	2,963	1,395	370	520	257	224	2,768
特売売上高	145	57	22	25	12	13	130
合計	3,109	1,453	392	545	270	238	2,899

当中間連結会計期間におきましては、主力のメニュー商品売上高は27億68百万円(前年同期比93.4%)、特売商品売上高については、1億30百万円(前年同期比82.0%)になりました。

貸借対照表の概要

2025年3月期 第2四半期

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期 2Q	増減
流動資産	2,018	1,748	△270
固定資産	3,516	3,559	43
資産合計	5,534	5,307	△227
流動負債	1,843	1,777	△66
固定負債	1,093	1,108	15
負債合計	2,937	2,885	△52
純資産	2,597	2,421	△176
自己資本比率(%)	46.9	45.6	-
負債純資産合計	5,534	5,307	△227

総資産：
有形固定資産その他(有形リース資産)が56百万円増加しましたが、現金及び預金が2億94百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少の**53億7百万円**になりました。

負債：
長期借入金(1年以内返済予定の長期借入金を含む)が72百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ51百万円減少の**28億85百万円**になりました。

純資産：
前連結会計年度末に比べ1億75百万円減少の**24億21百万円**となりました。
これは剰余金の配当38百万円、親会社に帰属する中間純損失1億24百万円を計上したことにより、利益剰余金を減少をしたことによるものです。

キャッシュフローの動向

2025年3月期 第2四半期

(百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q
営業活動による キャッシュフロー	44	△127
投資活動による キャッシュフロー	△47	△10
財務活動による キャッシュフロー	△159	△156
現金及び現金同等物 増減額	△162	△294
現金及び現金同等物 期末残高	1,696	1,393

現金及び現金同等物期末残高は、13億93百万円となりました。

営業活動：

減少した資金は1億27百万円(前年同期は44百万円の増加)になりました。主な内訳として、減価償却費79百万円等を計上しましたが、税金等調整前中間純損失68百万円、仕入債務の減少額45百万円によるものです。

投資活動：

減少した資金は10百万円(前年同期は47百万円の減少)になりました。主な内訳として、有形固定資産の取得による支出9百万円等により資金が減少したことによるものです。

財務活動：

減少した資金は1億56百万円(前年同期は1億59百万円の減少)になりました。この主な内訳として、長期借入金の返済による支出72百万円、リース債務の返済による支出45百万円、配当金の支払による支出38百万円により資金が減少したことによるものです。

配当の状況

2025年3月期 第2四半期

		2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期2Q
1株当たり年間配当額 (括弧内は中間配当)	(円)	5.00 (2.50)	5.00 (2.50)	予想 2.50 (0.00)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (※個別)	(円)	19.15	△0.94	△7.96
配当性向 (%)	(%)	26.1	—	—

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として位置付けており、配当政策は、株主の期待に応える長期的かつ安定的な配当の実現を基本方針としております。

価格転嫁があらゆるモノとサービスで進む中で、消費者の可処分所得の減少は食品業界にとって大変厳しい状況が続いております。このような状況を鑑み、誠に遺憾ながら第2四半期（中間期）の配当は無配とさせて頂きます。ご理解のほど、宜しくお願い致します。



2025年3月期 取組状況

株式会社ショクブン

主力宅配事業について

2025年3月期 取組状況

調味料・消耗品の取扱い

食材商品はもちろんのこと、調味料や、キッチンペーパーなど消耗品のラインナップ強化したことにより、習慣的に当社メニューをご利用頂ける仕組み作りを進めております。

直接仕入による特価商品



当社主力商品「エコクック」「和ごころ」などの1週間コースをご注文頂いたお客様へ、特別価格での限定商品の販売を実施いたします。

仕入業者を通さず、卸売市場にて直接仕入れを行うことで仕入原価を抑え、旬の食材を一般価格に比べリーズナブルにご提供いたします。

栄養コントロール弁当

2025年3月期 取組状況

塩分・タンパク質 調整食
腎臓病、糖尿性腎症、透析治療中の方

エネルギー
約 320 kcal

塩 分
2.0g 未満

たんぱく質
12.5g 以下

カリウム
407mg 以下



カロリー・塩分 調整食
糖尿病、肥満症、脂質異常症、脂肪肝心
疾患、高血圧症、脳血管疾患の方

エネルギー
約 260 kcal

塩 分
2.0g 未満



2024年7月より、関西の一部地域を対象として販売を開始し、順次エリアを拡大させ、2024年9月に当社全商圏で販売を開始しております。

2食分からご注文頂け、栄養価を気にされる方はもちろん生活習慣病などにより食事に制限がある方にも手軽に安心して召し上がって頂ける冷凍弁当であり、認定栄養ケアステーションと提携し管理栄養士へ直接ご相談頂けるサービスも付加しております。

施設向け事業

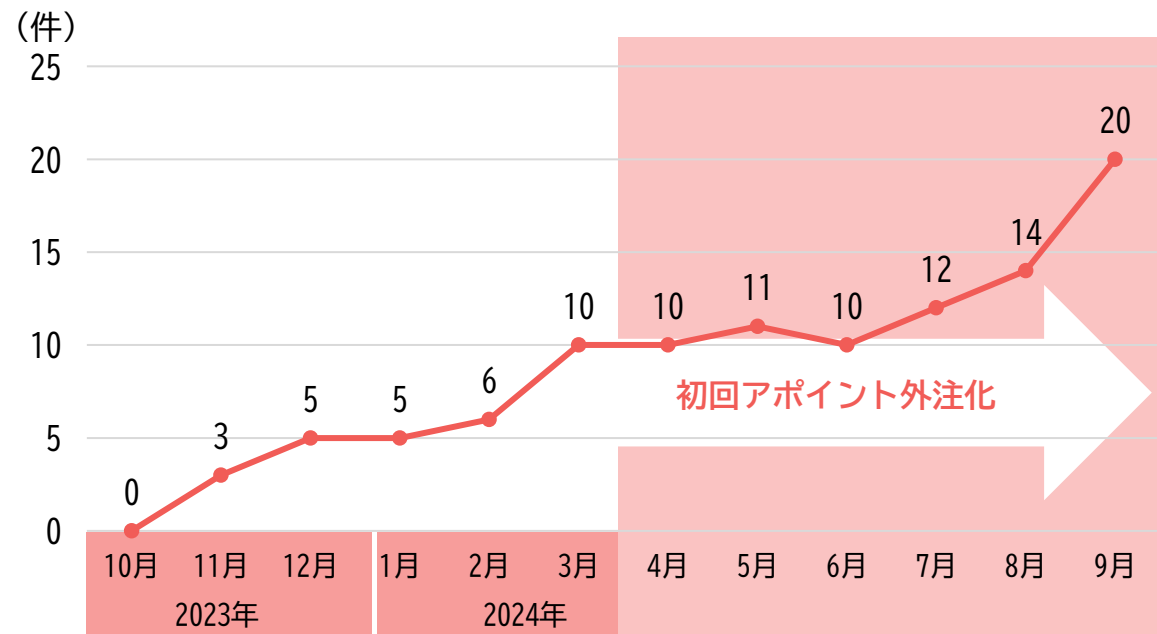
2025年3月期 取組状況

施設向け事業

1日分のお食事を当社主力事業の配送網を使用して毎日お届けしております。
朝食のみ、夕食のみにも対応しております他、冷凍完調品のご提案も致しております。



成約件数推移※初回納入日基準



2023年10月より本格化しております、特養ホーム、介護施設などに向けた施設向け事業は営業工程の内、初回アポイント（テレアポ）を2024年4月より外注化により効率化を行いました。
その結果、7月以降成約件数が顕著に伸びており、新たな事業の柱としてより一層の注力を致します。

年末特売のラインナップ強化

2025年3月期 取組状況



身入り抜群の特大たらばがに
例年商品の最大1.5倍サイズ※当社比



例年好評の黒毛和牛すきやき
に香り豊かな松茸をプラス



公式アンバサダー
島谷ひとみ氏監修による
中華おせち 2種

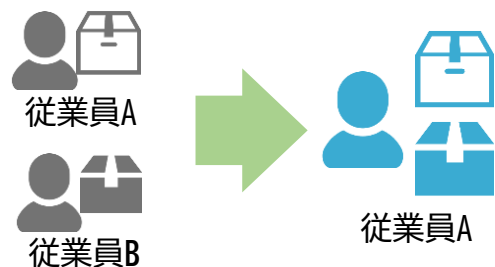
翌連結累計期間である第3四半期に控える年末商戦は、当社において最も重要な繁忙期と言えます。
今期は、例年より更にラインナップを強化し、よりご満足頂ける商品を提案するとともに売上の最大化を図ってまいります。

コスト削減

2025年3月期 取組状況

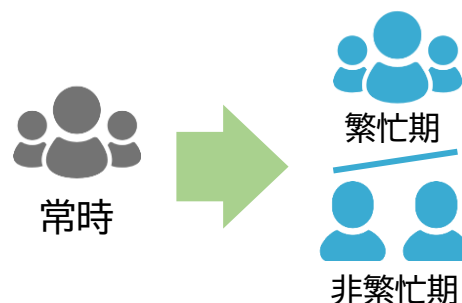
従前より実施中の削減策

多能工化



従業員の能力開発を進め、業務を属人化させず柔軟な配置が可能になっております。

シフト制



多能工化と合わせ、必要な人員を適切に配置することにより、人件費の削減を行っております。

自動化

配送効率化

新たに推進

仕入方法の見直し

一部加工商品の内製化

従前より実施しております、固定費の変動費化を目的とした人員配置による見直しの効果が表れており、販売管理費は昨年同期に比べ59百万減少しました。

また、原材料についても仕入方法の見直し、一部製品加工の内製化を開始しており、こちらも徐々に効果が表れるものと考えております。

本資料にかかる免責事項

本資料は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

また、本資料が基礎とした情報の中には、決算短信及び四半期報告書の財務諸表に基づく財務情報並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれており、いずれも独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていないことをご了承ください。